

事業者の力を活かして高齢者を支える しくみづくりが広がっています

問 長寿福祉課 TEL(31)3737・FAX(31)3738

高齢者の皆さんが安心して生活できるよう、事業者が気付いたことを情報提供いただく「近江八幡市高齢者安心見守りに関する協定」と、高齢者が自立した生活を維持できるような支援やサービスを提供する「近江八幡市ささえあい商助推進事業者」。本市には、事業者の力を活かして、住み慣れた地域で暮らし続けられるしくみがあります。今回は、協定事業者と商助推進事業者の両方でご協力いただいている事業者にお話をお伺いしました。



当店には、毎日常連のお客様にお越し
いただいています。高齢のおじいちゃん
やおばあちゃんも来店され、陳列の商品
に手が届かないときには、スタッフが確
認して取ってあげたり、レジにかごを乗
せたり、商品を手押し車や自転車に乗せ、
必要なときは、落ちないようにテープで
止めるなど、細やかな気くばりに努めて
います。お食事配達サービスの「セブン
ミール」は、遠くは牧町や近江八幡駅前
まで配達しています。

日頃から、お客様とのコミュニケー
ションを大切にしており、店内での何気
ない会話やセブンミールの配達が、高齢
者の見守りや詐欺被害の予防にもつな
がっており、ちょっと気になることがあ
れば、スタッフの中で情報共有をしてい
ます。長年パートで働いているスタッ
フが地域のことをよく知っていて、新人ス
タッフのよい手本になっています。

毎日、手押し車を押して、ゆでたまご
と栄養ドリンクを買いに来ってくれるおじ
いちゃん、パンやたまご、バナナ、にん
じんを買いに来ることが日課のおばあ
ちゃんなど、さまざまな常連さんとス
タッフに恵まれ営業しています。

より地域密着で親しみやすいサービス
に力を入れていこうとなった時、顔見知
りの民生委員さんを訪ね、困っている人
がいたら配達させてもらうこと、気にな
ることがあったら聞きに来させてもらう
ことをお話しし、連携が深まりました。

何回か店の前で倒れるなどしていた高齢
のお客様を、民生委員の方と連携して見
守りを重ね、ご家族からセブンミールの
配達を依頼されるようになりました。体
調の異変時に対応をさせてもらったこと
もあります。

これからも、お客様にもスタッフにも
風通しがよく、地域の方に愛され、楽し
んでもらえるお店を目指して、笑顔でが
んばっていきます。

ちょっとした気づかいと
会話があふれるあったかいお店

セブン-イレブン近江八幡土田町店

安心とぬくもりを提供し、 笑顔あふれるくらしをめざして

北村嘉身さん

(生活協同組合コープしが 東地区運営事務局長)



当組合では、日用品、食料品やお弁当などの配達業務を行っており、商品注文のお手伝いなどを通じて高齢者の見守りを行っています。近江八幡エリアを担当する東近江センターの全従業員が認知症の学習会に参加しており、もの忘れが心配される高齢者の方には、様子の変化に気をつけて丁寧に対応しています。週1回の配達員との交流を楽しみにされている方もおられ、おひとりの時間が長い方には、少し長めにおしゃべりをしています。配達業務の途中でも気になる高齢者にお声かけし、安心見守り活動として市と連携を取るなど、福祉の視点をもって

配達をしています。

食を通じた健康教室を地域で行うキッチンカーのサポーターやイベントの託児協力員として、80歳代の方にも活躍していただいています。若いお母さんには、「抱きしめてあげてね」と言ってもらえるのがうれしく、高齢者の方にとっても生きがいになっています。

くらしの中のちょっとした困りごとの解決は、ささえあいサポート事業で、世代の壁を越えて組合員同士が支えています。グループ配送を通して、身近な人同士つながりや支え合いも広がっていはなおよいと思っています。

商品の試食をしながらおしゃべりする場でもいただいた声や、これからのくらしやまちづくりについて地域ごとに話し合う場でもいただいた声を、事業運営に活かしています。また、事業に活かすだけでなく、地域の民生委員の方や社会福祉協議会とも連携していけたらと思っています。

普段のくらしの幸せを実感でき、いつもと違うことに気づいたら、ちょっと声をかけられる、一人ひとりの寄り添う想いが形になる笑顔あふれるくらしに向けた活動を大切にしていきたいと思っています。



商助とは？

近江商人の三方よし「売り手よし」「買い手よし」「世間よし」の精神にのっとり、企業や事業所が地域への貢献に努力し、商いが地域を助け、地域が商いを助けるしくみを高齢者の生活の支援体制の整備に活かしていくことです。

事業者の登録要件は？

地域での支え合いの推進を図るため、本来の事業活動以外に、高齢者が自立した生活が維持できるような支援やサービスを提供する事業者を登録しています。

▼事業者の登録要件

- ア. 高齢者の能力の活用とニーズの把握、高齢者に必要な情報提供を行うこと
- イ. 従業員に向け、認知症などに対する定期的な学習の機会を持つこと
- これらの要件に加え、次のいずれかの取り組みを実践できること
- ① 高齢者にとって安心できる環境をつくること
- ② 高齢者の生活支援を実施すること
- ③ 高齢者の移動支援を実施すること
- ④ 高齢者の社会参加の機会をつくること
- ⑤ 高齢者の交流の場を提供すること

高齢者の生活を支える23の事業者を紹介します

高齢者が自立して生活できるような支援やサービスを提供し、住み慣れた地域で安心して暮らすことができるまちづくりに向けて、地域での支え合いを推進していただく事業者です。高齢者の能力を活用すること、高齢者のニーズの把握と必要な情報を提供すること、従業員が認知症などの定期的な学習をすることとあわせて、さまざまな取り組みを実践されています。

登録事業者一覧(令和2年1月17日現在)

事業者情報	取り組み内容
(南)中野電機商会 (仲屋町中、鷹飼町)	家電販売と住宅総合サービス業を通じ、「お役にたち隊」と書いたオレンジのユニホームを着て、電池の交換や部屋の模様替えなど身近なお困りごとを解消。
(株)平和堂 アル・プラザ近江八幡 (桜宮町)	買い物のお手伝いや買い物代行、配達を行うホームサポート事業を、島学区の地域組織と連携して実施。積極的な高齢者の雇用と、開店前の健康体操を実践。
生活協同組合コープしが東近江センター (東近江市)	配達業務を通じて見守りや注文書記入を支援。伝統食づくりの講師や託児協力員として、高齢者の活躍の場を提供。キッチンカーでの出張健康教室も実施。
一般財団法人滋賀YMCA (鷹飼町)	パソコン教室、実験教室、ボランティア研修、体育教室などでの指導で、高齢者の特技や知識を活用できる場・機会を提供。
休暇村 近江八幡 (沖島町)	高齢者が宿泊客の前で特技を披露する場を提供。定期的に実施される地域の高齢者によるコンサートや紙芝居が、宿泊客に好評。
フジ薬局 (千僧供町)	商品選びのお手伝いや休憩スペースを設置。来店が困難なお客様への配達に対応。民生委員や地域の見守り活動とも連携。
いちえ薬局中小森店 (中小森町)	休憩場所があり、自由に使えるおしぼりや水を提供。キッズスペースもあり、待ち時間も全ての方が安心できる環境を提供。
いちえ薬局本店 (安土町常楽寺)	日中、いつでも健康相談を受けられるスペースを提供。地域のニーズに合わせて、日用品や野菜の種なども取り揃える。
セブン-イレブン安土常楽寺店 (安土町常楽寺)	全店員に、高齢者への声かけを徹底。重たいものなどの配達や商品の取り置きに対応。
(南)カキウチ ダイヤモンドフォト (八木町)	店内に休憩できる環境を提供。高齢者雇用を実施。ふくよか写真展では、米寿の人やその家族の外出、交流の機会を提供。
セブン-イレブン近江八幡土田町店 (土田町)	市内で唯一、小型電気自動車(コムス)を所有し、商品を配達。地域の民生委員や家族とも連携を取りながら、高齢者支援に対応。
さくらみや薬局 (桜宮町)	タクシーで帰宅する人のために、外にもベンチを設置。お薬無料宅配サービスを実施。
ウエルシア市内3店舗 (近江八幡若宮店、近江八幡店、多賀町店)	地域貢献の一環として、地域住民の休息・井戸端会議の場として無料で利用できるスペースを提供。健康相談会、お化粧品相談会、塩分測定会を開催。若宮店では、いきいき百歳体操を地域ボランティアが実践。
整理収納アドバイザーむろや (池田本町)	事業活動以外に、住宅設備のメンテナンス方法などの調べものや買い物代行などの生活支援を実施。
(株)公益社 近江八幡公益会館 (西庄町)	文化講座で幅広い情報と交流の機会を提供。自治会のふれあいサロンへの出張講演を実施。
まごころ弁当近江八幡店 (安土町石寺)	配達時に安否確認などの見守りや、3分間生活支援サービスを無償提供。1食から配達に対応。服薬確認サービスを実施。
ECCジュニア・BS島教室 (島町)	交流の機会として月1回程度のランチ会や茶話会を開催。子どもと交流できるイベントの開催。
パティスリー ユウグレ (八木町)	お買い物時以外も休憩できる場所があり、休憩用のイスを確保。メニューを大きな字で表示するなどの、お買い物サポート。高齢者の絵画をシニアアートギャラリーとして、無償で展示。
コーヒーロースト ボゴダ (北之庄町)	高齢者のクラフト作品の材料として、コーヒー豆がらと麻袋の提供。交流の場への安価でのサービス提供。
モア アヴァンセ (加茂町)	くつろぎスペースがあり、高齢者が安心できる環境づくりを実践。
お掃除専門マッハ (西本郷町)	高齢者のみ当日キャンセル料無料。営業活動以外で、生活や身体の変化を支援者や離れて暮らすご家族に報告したり、生前整理のアドバイスをするなど高齢者の生活支援を実施。

※それぞれの事業者の取り組み内容の詳細は、長寿福祉課(ひまわり館2階)、市役所本庁舎および総合支所の情報公開コーナー、近江八幡図書館、安土図書館、各学区コミュニティセンターにあります冊子「商助でつながるお互いさまのまちづくり～近江八幡市ささえあい商助推進事業者のご紹介～」をご覧ください。

地域ぐるみで見守りの輪が広がっています

高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、異変を察知した場合に市へ情報提供いただく「近江八幡市高齢者安心見守りに関する協定」を企業・事業所の皆さんと締結し、地域ぐるみで見守りの輪を広げています。

協力事業者は、日常業務において少し意識して高齢者の様子を見守り、異変や心身の状況の変化に気が付いた時に、お声かけしたり市に連絡いただく活動に取り組んでいただいています。また、市内在住の高齢者が行方不明になられた際に、ご親族が希望される範囲で情報提供を行い、日常業務の中で捜索いただくSOSネットワークにも協力いただいています。



【協定締結事業者一覧】（令和2年1月17日現在）

(株)平和堂 アル・プラザ近江八幡	京滋ヤクルト販売(株)
(株)セブン-イレブン・ジャパン（市内12店舗）	生活協同組合コープしが（東地区運営事務局）
布亀(株)	(株)秋村組
(株)ケーエスケー 近江八幡支店	丸善スーパーチェーン近江八幡店
(株)京都銀行 近江八幡支店	滋賀中央信用金庫（出張所含む市内6店舗）
滋賀銀行（市内5店舗）	滋賀県信用組合 八幡支店
湖東信用金庫 近江八幡支店	グリーン近江農業協同組合（市内5店舗）

「商助でつながる お互いさまのまちづくり シンポジウム2020」

参加無料
一部予約制

日時 2月22日(土) 午後0時30分～4時

場所 ひまわり館

内容 健康測定と健康相談、人生会議ワークショップ、
ミニふくよか写真展、シニアマルシェ紹介

「商助でつながる三方よしのまちづくり」に関する
講演とパネルディスカッション

講師 ひつもと しんいち
檀本 真幸さん
(四国医療産業研究所長)

藤原 佳典さん
(東京都健康長寿医療センター研究所部長)

※詳しくは、自治会回覧または市ホームページをご覧ください。

認知症地域支援推進員の情報発信コーナー

地域と行政をつなぐ架け橋として

認知症地域支援推進員は、地域の人や認知症の本人から地域の課題や本人の声を聞き取ったり、一緒に考えたりして、地域と行政をつなぐ架け橋になるよう活動しています。

地域のボランティア、事業者や行政と連携して、認知症啓発イベントの実施、認知症カフェの運営支援、いきいき百歳体操での認知症予防の認知サイズ啓発、頭を使いながらウォーキングをする認知ウォークを月1回開催しています。

少しずつですが、地域の人に顔を覚えていただき、相談していただけるようになりました。

これからも、いつ誰が認知症になっても、変わりなく生活ができ、地域でもいきいきと楽しく活動ができるように、一生懸命取り組んでいきます。